

## 「しもやまスマイルプラン「後期プラン」(案)」における意見募集結果

●実施期間 令和8年1月5日(月)～1月23日(金)

●提出数及び意見数 8人、18件(一人の意見に複数項目含まれる場合は、分けて整理)

### ■計画全般について

【まち協、自治区】

| 意見・感想の概要  | まち協の考え方  |
|---|--|
| <p>①「子どもの声が聞こえ、笑顔で暮らせるまち しもやま」と云うキャッチフレーズが、「下山の10年後の将来像」を見事に捉えている。笑顔で下山で暮らし続けるために、各組織で知恵を出し合っている。農業、定住・移住、子育て、観光等々、下山の組織を「横に繋げる」ことで課題点を共有し、対策を検討していく必要がある。</p> <p>②プランとして良くまとまっている。このとおりに進んでいくと良いと思う。</p> | <p>まち協において、各団体との情報交換、課題共有等を進めていきます。スマイルプランに基づき私たち住民一人ひとりができる取組から進めていきましょう。</p> |

### ■定住・移住について

【里楽暮住、支所】

| 意見・感想の概要   | まち協の考え方  |
|--|--|
| <p>③「少子高齢化」は抗うことができない。関係人口を増やして移住対策等は必要だが、幸せな年寄りを増やす「幸齢化」も重要。笑顔で暮らす地域は、移住者が増えるのではないか。</p> <p>④定住までに必要なトータル的なアプローチになっている。内容は具体的であり多岐にわたっているため、年度ごとに重点目標を立てながら進めていけると良い。</p> | <p>定住・移住分野は下山の重要課題のひとつです。里楽暮住しもやま会を中心に、年度ごとの重点目標を立てながら進めていきます。</p> |

### ■子育て・教育について

【交流館、支援センター、社協、里山協議会】

| 意見・感想の概要  | まち協の考え方   |
|---|---|
| <p>⑤親子イベントや読み聞かせ、子育て相談などを定期的で開催し、継続的な交流の場をつくってほしい。交流館ロビーや各地区の集会所等に子育てサークル募集や子ども用品の譲渡掲示板を設置する。また、里山を活かした体験プログラムの充実を期待する。</p> | <p>現状、対象となる子の多くが入園し利用者が少なくなっていますが、交流の場は設け、親子イベント等は随時開催してまいります。里山体験プログラムはしもやま里山協議会やわくわく事業でも実施されています。</p> |

### ■健康・福祉について

【支所、社協】

| 意見・感想の概要  | まち協の考え方  |
|---|--|
| <p>⑥健康体操や地域ふれあいサロンなどの活動を継続、広報誌などでPRしてほしい。子どもや若者との世代間交流(昔話会、工作教室など)を増やすことで、地域全体のつながりが強まると思う。買い物支援や送迎ボランティアなど、移動支援や見守り体制の強化も重要。</p> <p>⑦終活に向けての公助の機会があるとよい(月1回、支所にて相談会を開催し、弁護士・司法書士などに繋げるなど)。</p> | <p>地域活動について積極的に地域情報誌へ掲載するよう情報提供をお願いします。買い物支援や終活については、市や社会福祉協議会を中心に取り組んでいきます。</p> |

### ■交流・観光について

【交流館、コミュ、観光協会、支所】

| 意見・感想の概要  | まち協の考え方   |
|---|---|
| <p>⑧マルシェや体験イベントを年間スケジュール化し、地域外の参加者を積極的に招いて開催したり、交流館ロビーを地域の魅力発信拠点として、観光・移住情報を充実発信してほしい。</p> <p>⑨SNS 広報や動画制作、イベント運営など、若者が活躍できる役割を提供してほしい。高校・大学との連携を強化し、学生の地域プロジェクト参加を促すことも効果的。地区体育大会や交流館ふれあいまつり、各</p> | <p>「第2期しもやま観光戦略プラン(R8～)」では、次世代につなぐ観光まちづくりとして、地域の観光資源を磨き上げ、戦略的に情報発信を行う方針(案)です。観光協会、支所、下山交流館、コミュニティ会議を中心にイベ</p> |

|   |  |
|---|--|
| <p>地区の夏祭りなど、若者が気軽に参加できる場づくりも重要。</p> <p>⑩地域情報コーナーを住民参加型とし、サークル活動やイベント情報、農産物情報等を掲示してはどうか。SNS や動画を活用し発信力を高めることで、交流人口の増加や移住促進にもつながる。下山地区のイベントや観光行事などの年間カレンダーを作成し、市街地や移住希望者にも届ける取組を期待する。</p>   | <p>ントの開催、情報発信に取り組みます。また、住民自身もイベントを開催したり、イベントや地域の魅力を発信したりしましょう。</p> <p>★下山支所で移住促進プロモーション動画を作成中です。スマイルプラン定住分野の取組事業の中に「動画の活用」を追加します。</p>                                  |
| <p><b>■農地保全について</b> <span style="float: right;">【自治区、支所、里山協議会】</span></p>   |  |
| <p style="text-align: center;">意見・感想の概要</p>   | <p style="text-align: center;">まち協の考え方</p>   |
| <p>⑪自助・共助では限界があるため、「農業用機械の導入支援、既存の活用促進策推進」「高齢者に対する草刈サービス」「市内若手ボランティアの発掘と中間山地への派遣」を公助の一環として検討してほしい。</p> <p>⑫住民と行政が協働で利用ルールを整備し、安全で持続的な利用環境をつくることを提案。遊休農地については、子ども農園・高齢者農園・移住者体験農園など、目的別に区画化すれば、多くの住民が参加しやすくなる。竹林整備や自然観察などの里山体験をプログラム化し、地域外にも発信する。</p>  | <p>ボランティアは企業による地域貢献活動や「とよたの山里応援隊」が活用できます。支所では自治区へ草刈機を貸し出しています。</p> <p>農地の活用は里山協議会やわくわく事業団体でも行われています。また、地域会議で耕作放棄地に関する提言がされ、今後地域主体での展開に期待しています。</p>                     |
| <p><b>■生活交通について</b> <span style="float: right;">【公共交通協議会】</span></p>  |  |
| <p style="text-align: center;">意見・感想の概要</p>   | <p style="text-align: center;">まち協の考え方</p>   |
| <p>⑬交通手段の確保として、コミュニティバスの運行拡充（バス停以外にも可能な範囲で迎え・送りを可能とする）、デマンドタクシー導入（デマンドバス+aにてタクシーが使えるような施策）を検討してほしい。</p>   | <p>地域の要望に応じてバス停の設置・移設をしています。誰もが安心して利用できる持続可能な地域交通の実現に向け、下山地区公共交通協議会を中心に取り組みます。</p>   |
| <p><b>■自治区プランについて</b> <span style="float: right;">【自治区、支所】</span></p>   |  |
| <p style="text-align: center;">意見・感想の概要</p>   | <p style="text-align: center;">まち協の考え方</p>   |
| <p>⑭この素晴らしいプランを地域住民の方々に周知する方法を具体的に考える必要がある。できることは少しずつ実行し、各自治区をもっと動かす必要がある。</p> <p>⑮少子高齢化の中でできる範囲で無理のない様、皆で取り組んでいきたい。「若い世代の定住・移住」「地元住民と外部ボランティアとの協力で農地等の維持管理」「草刈り等環境整備」「伝統行事の維持」「役員の負担軽減」これらを高齢者から若者が一緒になって取り組み、住みよい地域にしたい。</p> <p>⑯できる範囲で無理のない様みんなで取り組んでいきたい。</p> <p>⑰みなさんそれぞれ地域の将来の思いに、アイデアを出し検討しているところに感心している。余り気負わず、がんばりすぎないレベルで出来ることに参加していきたいと思う。</p> <p>⑱地域で頑張っている取組を知らない方も多い。広報誌や SNS を活用して、地域での頑張りに今以上にスポットを当てれば、活動の励みになると感じた。</p> | <p>自治区ごとの特徴のあるプランが完成しました。これに基づき、それぞれの自治区のまちづくりを進めましょう。</p> <p>またその取組や地域のイベントを地区情報誌に取り上げるため、積極的な情報提供をお願いします。</p> <p>★各自治区の取組内容を記載したタペストリーを作成し、各自治区の集会所に設置して周知を図ります。</p> |